

会 議 録

会議の名称	長期計画起草委員会 (「子どもと教育」「福祉と健康」第2回)		
開催日時	令和7年5月26日(月) 午前9時35分～午前11時13分		
開催場所	第二庁舎8階 801会議室		
出席者 (5人)	リーダー	浅野 智彦	委員
	サブリーダー	石塚 勝敏	委員
		檜山 渚	委員
		湯元 由佳	委員
		春日 邦夫	委員
欠席者	なし		
担当課	保険年金課長	内田 雄介	
	地域福祉課長	根本 礼太	
	自立生活支援課長	天野 文隆	
	介護福祉課長	松井 玉恵	
	高齢福祉担当課長	磯端 洋充	
	健康課長	伊藤 崇	
	子育て支援課長	鈴木 美苗子	
	保育課長	黒澤 佳枝	
	児童青少年課長	平岡 美佐	
	こども家庭センター長	富田 絵実	
母子保健・児童福祉統括担当課長	笠井 綾子		
事務局	企画政策課長	廣田 豊之	
	企画政策課係長	前坂 悟史	
	企画政策課主事	樗木 紗矢	
	アビームコンサルティング株式会社	大川 創平	
	アビームコンサルティング株式会社	大森 陽太	
傍聴の可否	Ⓐ 一部不可 不可		
傍聴者数	0人		
【次第】			
1 第5次小金井市後期基本計画（たたき台）に対する関連課へのヒアリング			
2 その他			
【要点記録】			
1 第5次小金井市後期基本計画（たたき台）に対する関連課へのヒアリング			

・冒頭、基本計画における施策の構成及び各施策の内容の記載の前提について事務局より説明した。

（施策２２ 福祉のまちづくりの推進）

・成年後見制度の利用者のうち、特に支援が必要な人に対して、継続的に支援するための体制を整えていく必要性について言及できると良い。

（施策２３ 高齢者の生きがいの充実）

・生きがいの意味合いが社会潮流により変化していると感じており、単なる社会参加に加えて、経済的な側面もあるのではないか。今後、高齢者が増加していくことが見込まれる中で、生活に困窮する高齢者は一定程度おり、この傾向が加速していくものと想定されることから、課題として言及できると良い。

（施策２４ 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実）

・アンケート結果に基づいた指標を設定するにあたり、高齢者施策に関連する指標については、市民全体の結果に加えて高齢者の結果を掲載するなどしてはどうか。市民全体の意見と高齢者の意見とを比較したうえで、今後の施策に反映できるようにした方が良い。

（施策２５ 障がい者福祉の充実）

・「連携」という単語が多用されているが、連携の意味合いが不明瞭であることから、連携先や連携内容について明記した方が良いのではないか。

（施策２６ 健康の維持・増進）

・コロナ禍で得られた医師会との関係性を活用し、健康維持に向けた取組に生かすことができるのであれば、その旨を記載すると良い。

（施策全体に関する意見）

・連携や推進といった表現を使う際は、具体的な取組内容を記載するべきではないか。

・市民意向調査等のアンケート結果を指標とする際は、属性ごとに結果に差がないかについて、注意して確認する必要があるのではないか。

２ その他

（議事なし）